

会 告

日本学術会議第1回原子力シンポジウム

表記の件下記日程により開催されますので会員各位にお知らせします。

日 時 1957年1月13 (日) 14日 (月) 15日 (火)
 会 場 東京大学

開催日 (曜日)	部門 時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場	D 会 場
		13日 (日)	午前 70分	9:00~ 開会式 9:40~10:20 総合講演 10:30~12:00 原子炉理論	重 水
	午後 180分	1:00~5:00 原子炉 核設計	重 燃 料 資 源	測定法 } R.I. の工 冶金 } 業的利用	放射線化学
大学における原子力研究に関する連絡組織の会					
14日 (月)	午前 140分	9:00~12:00 動力炉 天然ウラン重水 天然ウラングラハイト 加圧水型原子炉 コールドーホール 型動力炉	冶 金, 腐 蝕	基礎医学生物学	線量計測遮蔽
	午後 140分	1:00~2:00 会場別総合講演 2:00~5:00 均質原子炉 沸騰水型原子炉	放射化学 廃棄物処理	基礎医学生物学	放射線測定
	懇 親 会				
15日 (火)	午前 140分	9:00~12:00 制御棒理論 光学的相似炉	同 上	診 断 治 療	放射線測定 (スペクトル)
	午後 140分	1:00~4:00 原子炉の特殊性	放射化学廃棄物 処 理 黒 鉛	農 林 水 産	1:00~1:30 会場別総合講演 原子核反応理論 融 合 反 応
	4:00~4:40 総合講演				
	4:40~5:00 閉 会 式				

総合講演 (1月13日)	(1) 放射線障害について.....樋口助弘
	(2) ウラン資源について.....佐藤源吉
(1月15日)	(1) 動力炉について.....嵯峨根遼
	(2) 廃棄物処理について.....大山義年
会場別総合講演 (1月14日)	A会場・国産重水原子炉の問題点.....杉本朝雄
	B会場・動力炉の燃料と金属材料.....橋口隆吉
	C会場・R.I. に関する測定の進歩.....山崎文男
(1月15日)	D会場・原子核反応の理論.....藤本陽一

一 般 研 究 発 表

一般研究発表の中より本会に関係深きものを次に列挙する。(○印は研究発表者)

B 部 門

1 月 13 日午後 重水, 資源, 冶金 1.00~5.00

- 8. 本邦における既知の放射性鉱物鉱床について 小関幸治 (地質調査所)
- 9. 小幡・倉敷附近の鉱脈型ウラン鉱床 ○東郷文雄・高瀬 博・土井啓司 (原燃公社)
- 10. 人形峠のウラン鉱床 片山信夫 (東大)
- 11. 地下水並に二, 三の亜炭の中のウラン 岡 好良・○菅野卓治・宮本正俊 (東北大)
- 12. 放射能探査の技術的諸問題 佐藤光之助 (地質調査所)
- 13. 含ウラン, トリウム砂鉱の分離に関する基礎的研究
○和田正美・真島 宏・橋本敏雄・小関精彦・鈴木揖子 (東北大)
- 14. ウラン酸化物の弗化について 吾妻 潔・○後藤佐吉・亀谷 博 (東大)
- 15. 塩化物電解による低ハフニウム金属ジルコニウムの製造実験 ○桐原朝夫・芝田 有 (名工試)
- 16. 電解ジルコニウムの粉末冶金 梶崎千代利・○飯田義男・尾崎俊郎・島田健三 (名工試)

1 月 14 日午後 冶金, 腐蝕 9.00~12.00

- 17. ウランおよびジルコニウムの金属組織試験 ○三島良績・森川茂寿 (東大)
- 18. 国産ウランの溶解, 鑄造について ○長崎隆吉・浜口由和・橋口隆吉 (原研)
- 19. 国産ウランの二, 三の物理的性質 ○国富信彦・浜口由和・長崎隆吉・橋口隆吉 (原研)
前田清治郎・長崎誠三・千葉省子・河野広志・広根徳太郎 (東北大)
- 20. 分散型酸化ウラン系燃料要素に関する研究 ○清浦電作・佐多敏之 (東工大)
- 21. MTR型酸化ウラン系燃料エレメントに関する実験 長谷川正義 (早大)
- 22. MTR型燃料用の Al-U 合金に関する二, 三の冶金学的性質について ○武谷清昭・佐々木吉夫
- 23. S³⁵ を使用して硫酸ウラニールによる各種金属の腐蝕の研究
○佐野忠雄・岩瀬慶三・(京大) 篠田軍治 (阪大)
- 24. ウラニル塩水溶液による 18-8 不銹鋼の腐蝕の研究
黒柳 喬・○篠田 暉 (日本特鋼) 橋口隆吉 (東大) 伊藤伍郎 (科研)
- 25. アルミニウムの高温水による腐蝕 ○伊藤伍郎・清水義彦 (科研)

1 月 14 日午後 放射化学, 廃棄物処理 1.00~5.00

- 26. 科研サイクロトロンによるプルトニウム-239 の製造
○木村健二郎 (原研) 斎藤信房 (東大) 横山祐之 (横浜国大) 佐野博敏・馬淵久夫 (東大)
- 27. トリウム, ウラン, ネプツニウム, プルトニウムのイオン交換分離 斎藤信房・○関根達也 (東大)
- 28. 陽イオン交換樹脂によるジルコニウムとハフニウムの分離 千谷利三・内藤義英・○永井健一 (東京都大)
- 29. ジルコニウム中のハフニウムの分離に関する研究 ○長谷川正義・藤永昭三 (早大)
- 30. TBPによるウランの分配平衡 内藤奎爾 (原研)
- 31. 種々の有機溶媒による磷酸酸性溶液中のウランの抽出について 岡田辰三・西 朋太・○上田耕造 (京大)
- 32. 核分裂生成物の分離精製に関する研究 塩川孝信・尾崎徳郎・○神原富尙・八木益男 (静岡大)
- 33. 核分裂生成物の捕集およびその除去法 ○塩川孝信・八木益男 (静岡大)
- 34. 核分裂生成物から放射性核種の単独分離法 137 Cs の分離について 甲田善生・○田中吉左右 (名工試)

1 月 15 日午前 放射化学, 廃棄物処 9.00~12.00

- 35. 燃料処理で分離困難な核分裂生成物の濃度 平田 昭・○中島一郎 (電原開発)
- 36. 溶媒抽出法による核分裂生成物よりの放射性ヨウ素の分離について
木村健二郎 (原研) ○池田長生 (東教育大) 川西はる子
- 37. 微量のセシウムの分離(I) —各種タリウム (I) 塩によるセシウムの共沈—
○山県 登・山県穎子・渡辺定方 (群馬大)
- 38. 過酸化銀および過ヨウ素酸カリウムによるキヤリヤフリーのプラセオジウム 143 の製法
木村健二郎 (原研) ○村上悠紀雄 (東大)
- 39. γ線シンチレーションスペクトロメーターによる核分裂生成物の迅速分析
○矢島聖使 (原研) 黒沢敏夫 (東工試)
- 40. β線源としてストロンチウムの電着について 岡宗次郎・○間宮真佐人 (東大)
- 41. ベータートロンのα線による金属の分材方法について
○浅田常三郎・古田純一郎・増田正美・奥村正幸・大熊重三 (阪大)

C 部 門

1 月 13 日午後 冶 金 1.00~5.00

6. Ag-Au 合金中の Ag^{110} の拡散 広根徳太郎・長崎誠三(東北大)国富信彦(原研)○大倉金吾(東北大)
 7. Cu 単結晶中への Co^{60} の拡散 広根徳太郎(東北大)国富信彦(原研)○坂本正誠(東北大)
 8. 銀の自己拡散に対する銅不純物原子の影響
広根徳太郎(東北大)国富信彦(原研)長崎誠三(東北大)佐藤幸三郎(宮城第二工高)
 9. S^{35} を含む○○ジエチルジチオリン酸水素エステル合成と浮遊選鉱の 2, 3 の結果について
○山崎太郎・下飯坂潤三(東北大)
 10. 鋼塊中の非金属介在物の成因に関する研究(第1報) R.I. 追跡法の応用
○斎藤恒三・島貫良一(東北大)
- 錦織清治・浅田千秋・永田重雄・相山太郎(大同製鋼)水野茂樹・丹羽庄平・小西雄二郎・上垣外修己(東海炉材)
12. C.M. 管による γ 線探傷 ○富士 岳・丸山 温(日本鋼管)
 13. 鉱山における R I 応用による総鉱量および鉱液濃度測定について 伏見 弘(早大)
(以下略す)

D (B) 部 門

1 月 13 日午後 放射線損傷, 放射線化学 10.30~12.00

1. Deuteron によるゲルマニウムの Radiation Damage
○橋口隆吉・松浦悦之・矢部正也・石野 栞(東大)
2. Ge p-n Junction に対する放射線の影響 ○山中千代衛・吹田徳雄(阪大)
3. 放射線照射の半導体整流器におよぼす影響について ○梅沢利二・小沢保和(北大)
4. 二, 三のイオン結晶に対する放射線の影響
○吹田徳雄・大石嘉雄・阪口清和・伊藤憲昭・光藤祐之(阪大)
5. 核磁気共鳴吸収による被照射テフロンの研究 ○大島憲一・菊池一成(東大)

東海支部講演会講演募集

本会東海支部では金属学会東海支部と共催で昭和 32 年 3 月 17 日名古屋大学工学部において総会ならびに講演会を開催致します。講演を一般から募集致しますが、特に同地方会員は奮つて応募下さい。

- | | |
|-------|------------------------------|
| 申込要領 | 題目, 講演者, 所要時間明記の上東海支部宛申込下さい。 |
| 会 期 | 昭和 32 年 3 月 17 日 |
| 場 所 | 名古屋大学工学部 (名古屋市千種区不老町) |
| 申込締切 | 昭和 32 年 1 月 20 日 |
| 申 込 先 | 本会東海支部 (名古屋市千種区不老町名古屋大学工学部内) |